



カンボジア内務省と新たな枠組みを構築-日本の中小企業が紡ぐ地方創生と両国の未来-

カンボジアの地方創生や技術移転において、日本の中小企業が持つ誠実な技術や情熱は大きな可能性を秘めています。例えば、地方に眠る豊かな農作物に日本の加工技術やアイデアを掛け合わせ、価値ある商品を生み出すようなストーリーは大歓迎です。

この度JCAは、内務省国務長官のプラトゥナ閣下と協議を行い、日本の中小企業に向けた投資促進や特恵関税制度（QIP）の環境整備について、画期的な合意へと至りました。通常、500万米ドル以上の投資がCDC（カンボジア開発評議会）等でのQIP申請対象となりますが、それ以下の投資についても内務省のプラットフォームで実施可能となる道が開けたのです。

中小企業特有の困難に寄り添うため、内務省とJCAカンボジア事務所の主要メンバーによる共同コミッティも結成されました。今後はJCAが窓口となり、困り事を共有しながら、様々なインセンティブを活用しやすい環境を整えてまいります。

この一歩は、JCAが地道に小さな実績を継続し、築き上げてきた信頼の証です。私たちはこの成果に甘んじることなく、相手を重んじ真摯に向き合う「日本人らしさ」を維持・継続していくことこそが何より大切だと考えています。

このような未来に繋がる技術やアイデアを持つ企業の皆様は、ぜひJCAへご連絡ください。両国の輝かしい未来を繋ぐ確かな懸け橋となるよう、これからも一步一步、誠実に歩みを進めてまいります。

出典:カンボジア内務省

<https://www.facebook.com/share/p/1NqY5VqjRw/?mibe>



カンボジア・デジタルマーケティング新時代への挑戦

今年4月のカンボジア商務省（MOC）訪問を契機に始動した、同国の未来を担うデジタルマーケティングプロジェクトの進捗についてご報告いたします。

今回の訪問では、現地テック業界を牽引する民間企業の一つであるPathmazing社と非常に密度の濃い協議を行いました。本取り組みの核心は、カンボジアの一村一品（OPOP）運動に則り、地方の優れた名産品を魅力的に製品加工した上で、広く世界に向けて発信していく基盤づくりにあります。その実現に向け、同社が持つ現地ネットワークやエンタメ知見と、JCAのデジタルマーケティングのノウハウを融合させ、新たな仕組みの確立へ向けて共に挑戦していくことで合意いたしました。

本プロジェクトには、JCA側のスペシャリストとして榎木勇人氏が参画。まずは小さくとも確実な実績を生むPoC（実証実験）の構築に向け、今後の両国の可能性を広げる大変ワクワクする未来志向のディスカッションが展開されました。

両国の戦略的パートナーシップを象徴する唯一無二の成功事例となるよう、JCA主導で力強くこの国家級プロジェクトを推進してまいります。



DCON社とのMOU締結と日本式モデルの普及

デジタルマーケティングの展開と並行し、現地における製造・物流のインフラ基盤を確立するため、工業団地運営大手であるDCON社との間で新たなMOU（基本合意書）を締結いたしました。DCON社は、進出コストを抑えるレンタル型工場の設置や、税制優遇を受けられるSEZ（経済特区）ライセンスの保有に加え、世界市場を見据えたハラル認証をも完備する極めて先進的な企業です。今回の提携により、大企業だけでなく、日本の優れた中小企業がカンボジアの新たなQIP（適格投資プロジェクト）制度を活用し、特惠関税などの恩恵を受けながら、新たなビジネスモデルの形成に挑戦できる強固な環境が整いました。

私たちが目指すのは、単なる急激な規模拡大ではありません。「まずは小さな一歩から」着実に歩みを進め、現地に寄り添いながらコツコツと持続的な発展を遂げていく「日本式スタイル」のビジネスを、カンボジアの地に深く根付かせていくことです。

本MOUを足がかりに、中小企業の可能性を広げ、両国が共に成長できる持続可能な未来へ向けて力強く邁進してまいります。



出張を終えて

今回の出張では、製造工場の確保、特惠関税ライセンスの活用、そして最終製品のデジタルマーケティングや輸出に至るまで、中小企業1社では決して不可能な一気通貫したビジネス基盤を、JCAという箱（プラットフォーム）だからこそ形にすることができました。これにより、中小零細企業であってもカンボジアというフロンティアへ挑戦できる大きな可能性が明確に開かれたと確信しています。

しかし、この強力なインフラはあくまで「スタートラインに立てる機会」の提供に過ぎません。ここから先、現地で持続可能な成功を収めるために最も重要なのは、目先の利益や利己的な動機ではなく、現地カンボジアのパートナーと「対等かつ誠実な信頼関係を築く」という、経営者としての真摯な姿勢と情熱です。この国の発展に寄り添い、共に汗をかく決意のある企業様にこそ、唯一無二の成果を掴むチャンスがあると現場で強く実感いたしました。

JCAは、本気で世界に挑む皆様の背中を全力で押します。この機会を活かし、真剣に挑戦されたい会員の皆様は、まずは温めておられるアイデアをJCAの田中常務理事、吉村理事にぶつけ、共に壁打ちをしながら戦略を練り上げていただければ幸いです。皆様と共に、新たな未来を切り拓けることを楽しみにしております。（文責：加藤）

6月の予定

■第13回通常総会実施予定

会員の皆様には改めてご連絡させていただきますが、本年度も6月24日（水）に第13回通常総会を開催いたします。詳細はメールでご連絡をさせていただきますので、事務局からのメールを見落とさずにご確認をお願いいたします。

■カンボジア企業とのビジネスマッチングを実施予定

6月26日（金）14時からカンボジア商務省とカンボジア企業団が来日し、日本カンボジア協会と日本アセアンセンターが中心となって日本企業とカンボジア企業とのビジネスマッチングイベントを開催する予定です。

現在、カンボジア商務省および日本アセアンセンターと共に最終確認をしておりますが、日時は確定しており、場所は日本アセアンセンター1Fホール（御成門駅）となります。こちらも6月頭にはイベントのご案内を出せると思いますので、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

カンボジア通信



一般社団法人 日本カンボジア協会事務局

発行人：浅見摩紀

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目16番6号 虎ノ門RAPO-TOビル UCF7階

問合せ先：info@japan-cambodia.or.jp

ホームページ：http://japan-cambodia.or.jp